

# PLOT FARO PANTHERA

## Round.3 / AUTO POLIS



### ST600 #8

#### 予選レポート

5/24-SAT ウェット

前日のフリーと打って変わり、レインタイヤを履いてのスタートとなった。徐々にライン上が乾いていく難しい状況の中、順調にタイムを上げていく寺本。予選後半にはドライタイヤでのアタックをかけるチームも出てくるが、難しい状況に対応できずタイムが伸び悩み、どのチームも苦戦を強いられていた。

寺本は最終的にレインタイヤでの最速タイムを出すものの、ドライタイヤでアタックをかけていたチームに抜かれ、予選4番手。セカンドローからのスタートとなった。

予選4番手 タイム：2'07.097



#### 決勝レポート

5/25-SUN ドライ

スタートを成功させた寺本は1コーナーを3番手でクリアしていくが、若干リズムに乗れず1周目は6番手。そこから徐々にタイムを上げ、上位陣を追撃する寺本。9周目にはファステストラップとなる1'57.767を叩き出しながらの怒涛の追い上げ、1コーナーで2番手、ゼッケン72番宮崎 敦をパス、3コーナーで小西 良輝をパスしてトップに浮上する。

ホームストレートでは2台横並びとなる超接近戦。その後トップ争いは小西との一騎打ちとなり、1周の間に何度もトップが入れ替わる激しい攻防を続け、7周にも渡る激しいドッグファイトは寺本がトップでファイナルラップへ突入していく。その1コーナーでは両者驚異的なレイトブレーキング。意地と意地の張り合いとなる。寺本は暴れるマシンを押さえながらもトップを守るが、続く3コーナーで小西がアウトからかぶせトップに。

迎えた第1ヘアピン。寺本はインにマシンをねじ込んでいくが、小西の車体にハンドルが絡む。小西アクセルオンの瞬間、寺本のハンドルが折れ、接触によって暴れたマシンを、折れたハンドルでは押さえつける事ができず痛恨の転倒。サーキット全体の注目を集めたドッグファイトは盛り上がりの頂点を迎えた直後に、衝撃的なシーンによって静まり返る。

その後ハンドル一本で再スタートを切るものの、31番手でレースを終えた。



#### 寺本コメント

ファイナルラップまでトップ争いをして2位は絶対に嫌だった。「寺本幸司」らしく攻め続けた結果が転倒だった。今後更に寺本改造計画を進め早く結果に出るように、更に面白いレースをするためにアクセル全開で頑張ります。

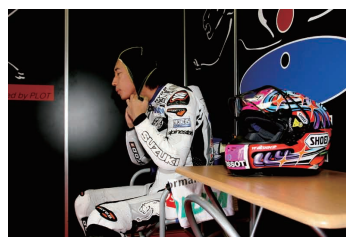
ST600 決勝 31位

### 予選レポート

5/24-SAT ウェット

予選は雨、前日のフリーでつめきれなかったセッティングのまま果敢に攻め続ける今野。途中若干の変更をするが、状況は変わらない。気合と根性のみでタイムを削っていく。しかし、納得できるタイムにはいたらず第2戦筑波に続き悔しい結果となる。

予選 17番手 タイム：2'03.853



### 決勝レポート

5/25-SUN ドライ

今野にとっての【鬼門】オートポリス決勝は6列目17番手からのスタートとなった。今野は抜群のスタートダッシュを見せるが、第3コーナーで接触。押し出される形となりコースアウトは免れたが、一気にポジションダウン。1周目を20番手で終える。ここから第2戦を思い出させる様な追い上げを見せる。

5週目に団子状態を抜け出し16番手。その後ベストラップを出しながら遥か前方に行くゼッケン13番波多野 祐樹の追撃を開始する。上位陣のトラブルがあり、一つ順位を上げた15番手で迎えた17周目、ホームストレートで遂に波多野をパス。その前を走るゼッケン18番奥田 貴哉に追いついたところで、奥田の転倒。13番手に浮上し、ファイナルラップ。タイムを落す事無く走り切り、13番手でフィニッシュ。

最後まで集中力を切らさない今野の気持ちが、またしても大幅なポジションアップを成功させたレースだった。

### 今野コメント

オートポリスで無事ゴールできてホッとした。過去2年ケガで欠場、先月の事前テストでトラブル、ウィーク初日にもトラブルと悪い流れを引きずって、レースに向けてのセットアップどころではなかった。

チームスタッフがマシンを良い状態にしてくれたから集中して走ることができて流れを断ち切れた。次のレース頑張ります！

JSB1000 決勝 13位



### SPECIAL THANKS

